

身体障害者スポーツに関する 実態・意識調査

山梨県理学療法士会
オリ・パラ対策委員会

アンケート結果

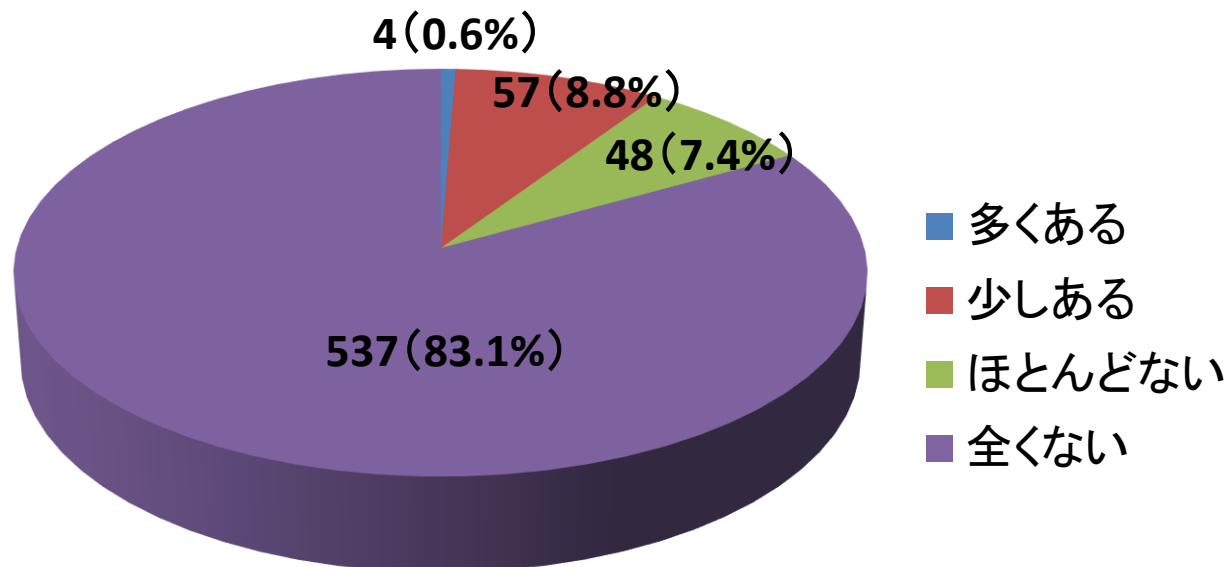
アンケート回収人数 646名

士会員数 895名 (2018,8,15.現在)

回収率 72.2%

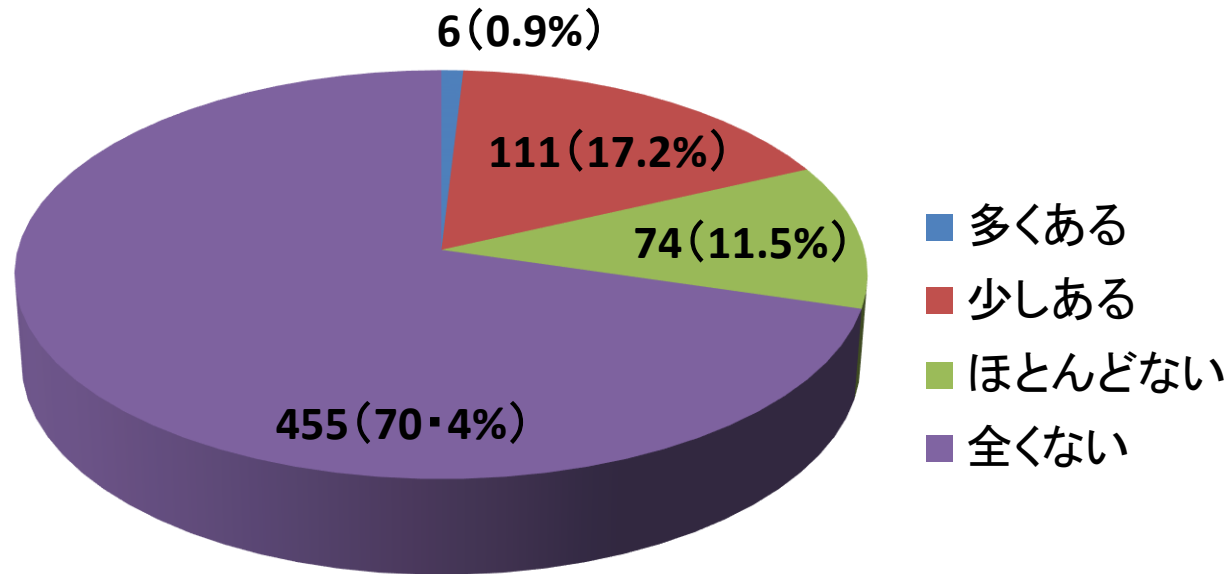
- Q1 身障者スポーツ大会の経験
- Q2 身障者スポーツ選手との関わり
- Q3 患者・家族の身障者スポーツ相談
- Q4 身障者スポーツへの勧誘
- Q5 身障者スポーツ関連の講演講義視聴
=身障者スポーツの経験
- Q6 身障者スポーツへの興味
- Q7 身障者スポーツへの参加希望
- Q8 身障者スポーツへの参入方法
=身障者スポーツへの参加
- Q9 身障者スポーツの種目知識
- Q10 身障者スポーツ関連資格
- Q11 年齢構成
=参考情報

身体障害者スポーツ大会の参加経験



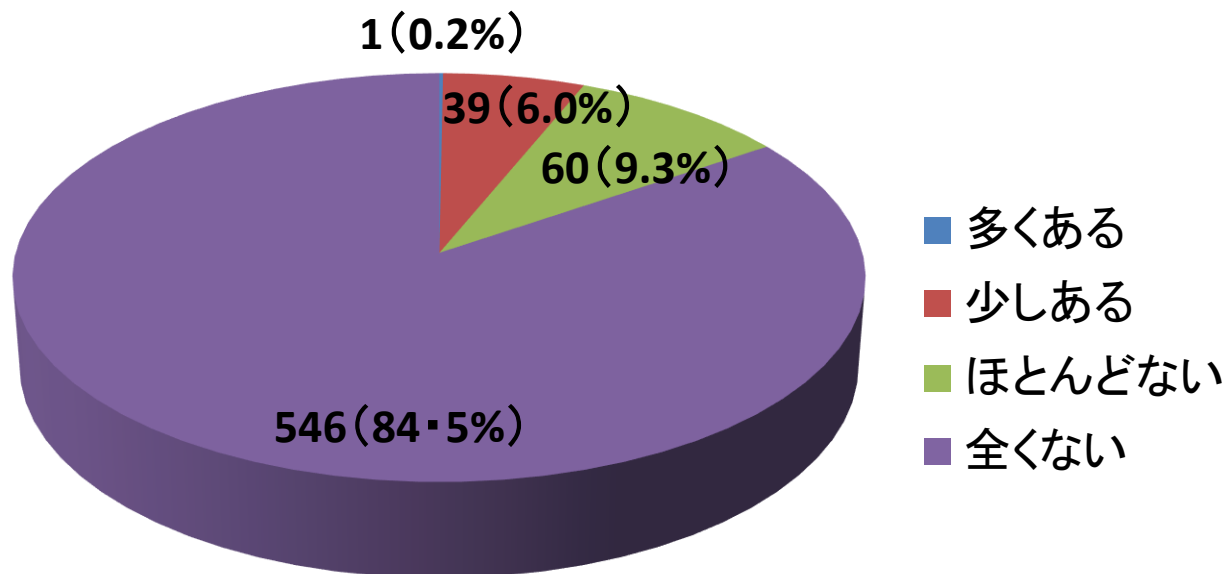
※山梨の8割以上のPTが身障者スポーツ大会の経験が全くない

身障者スポーツ選手との関わり



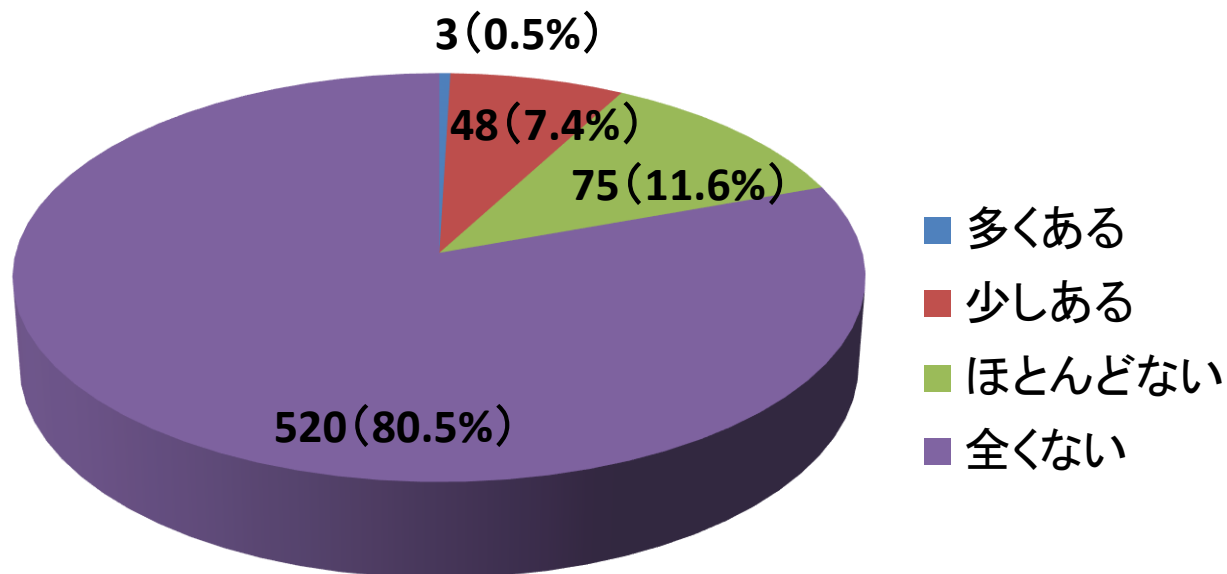
※山梨の約8割のPTは、
身障スポーツ選手とほとんど関わったことがない

患者・家族の身障スポーツ相談



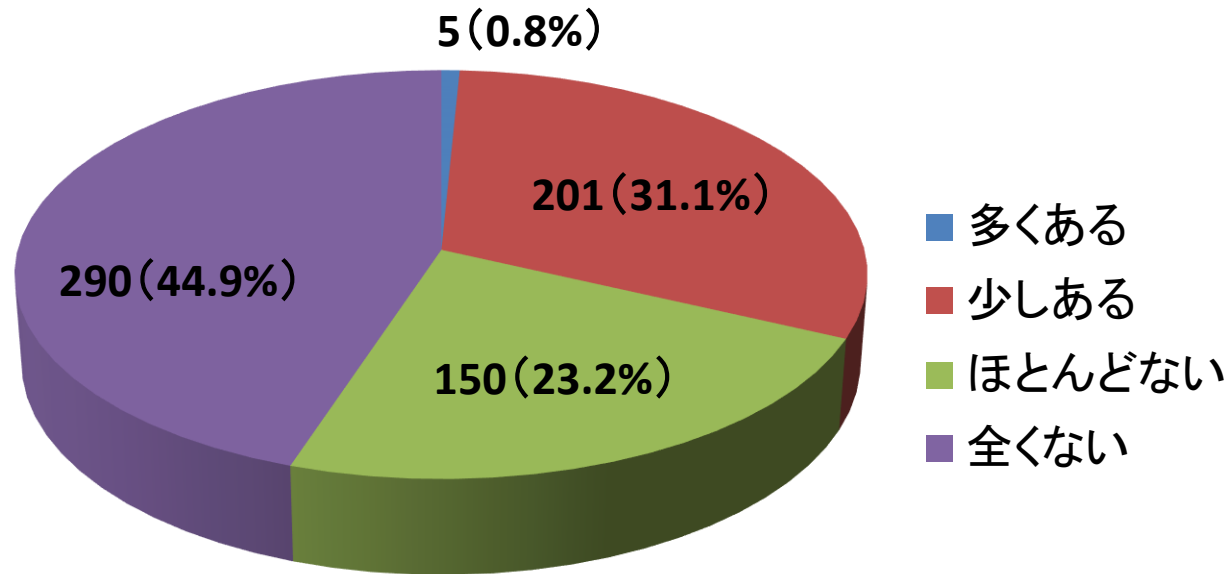
※山梨のPTの9割以上は、患者・家族から
身体障害者スポーツについて相談を受けたことがない

患者・家族へのスポーツ勧誘



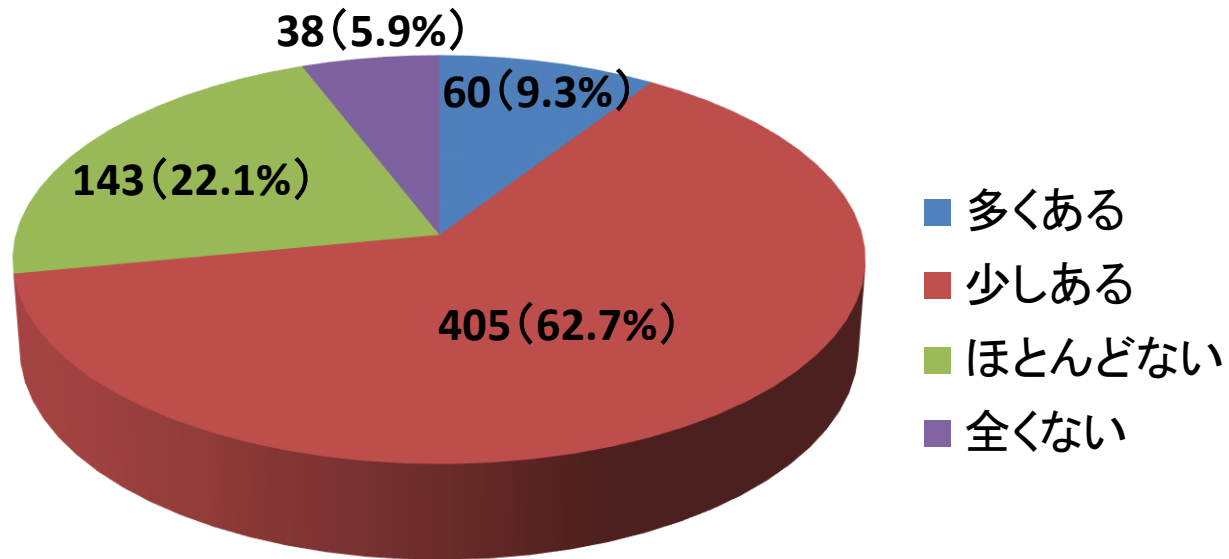
※山梨のPTの9割以上は、患者・家族に
身体障害者スポーツへ勧誘したことがない

講演・講義の視聴



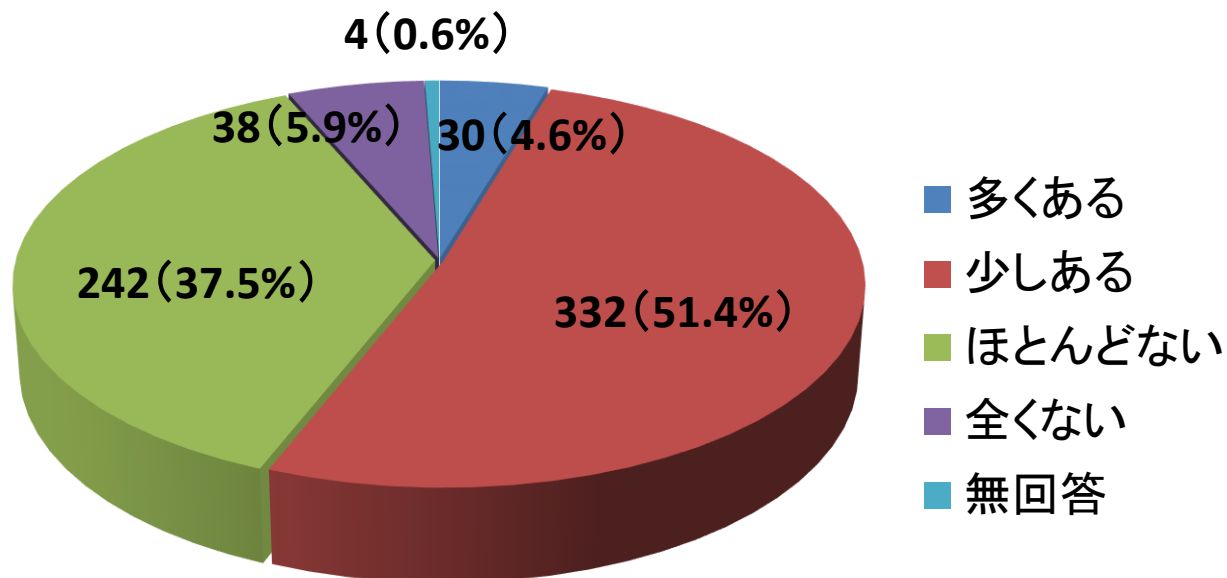
※山梨のPTの半数以上は
身体障害者スポーツに関わる講演・講義を視聴したことがある

身障スポーツへの興味



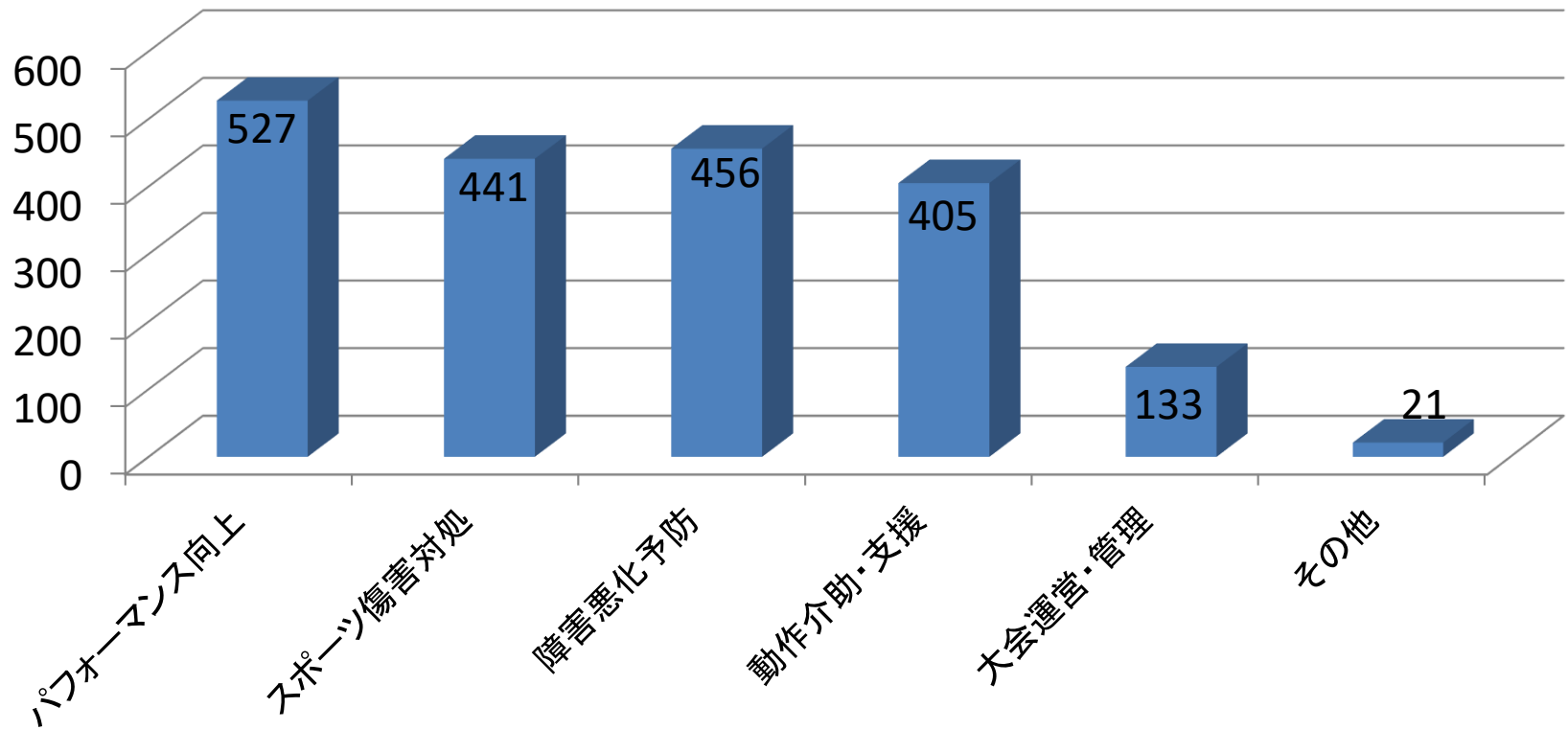
※山梨のPTの7割以上は
身体障害者スポーツに何らかの興味を持っている。

身障スポーツへの関わり希望



※山梨のPTの半数以上は
身体障害者スポーツに関わりたいと思っている

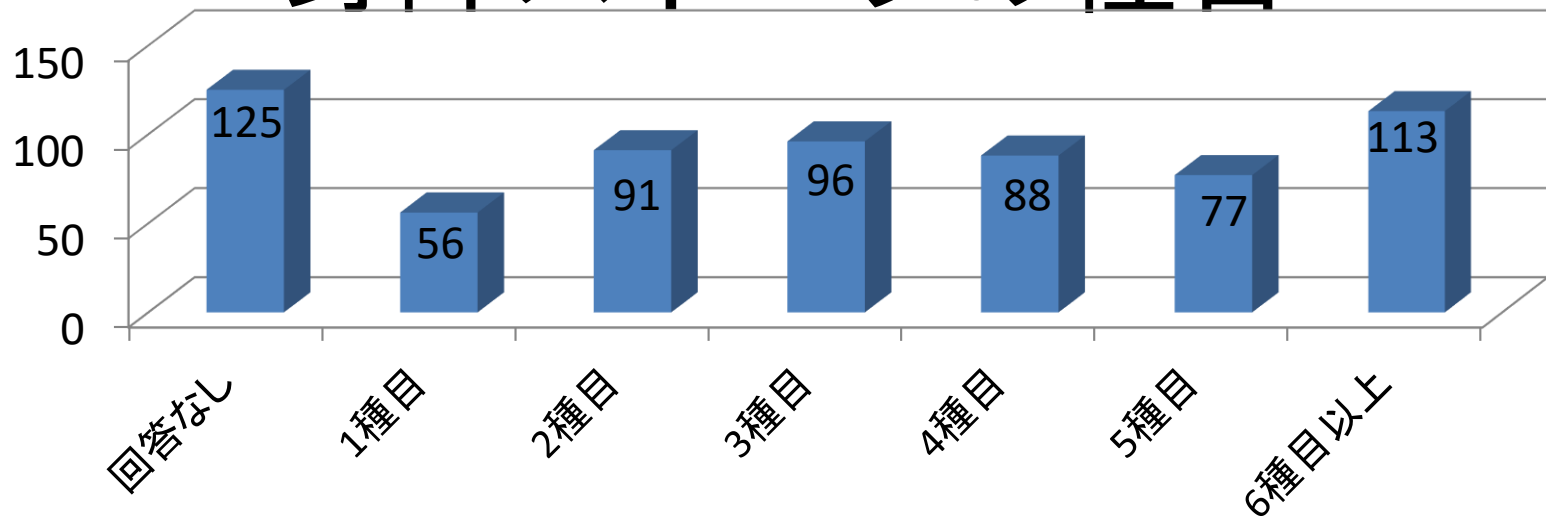
身障者スポーツでの活動内容



その他 ; クラス分け。用具・環境整備。補装具・用具・車椅子の選定。
知的障害者スポーツ。希望者サポート。トータルな支え。
参加者・家族の支援・指導。メンタル・ケア。スポーツへの勧誘。

※活動イメージはフィジカル・メディカルの関わりから
介助支援や運営管理まで多岐にわたる

身障スポーツの種目



車椅子バスケ : 482
 陸上競技 : 288
 車椅子テニス : 244
 盲人サッカー : 241
 水泳競技 : 233
 車椅子ラグビー : 187
 スキー・スノボ : 123
 ボッチャ : 95
 盲人卓球 : 41
 シット・バレー : 32

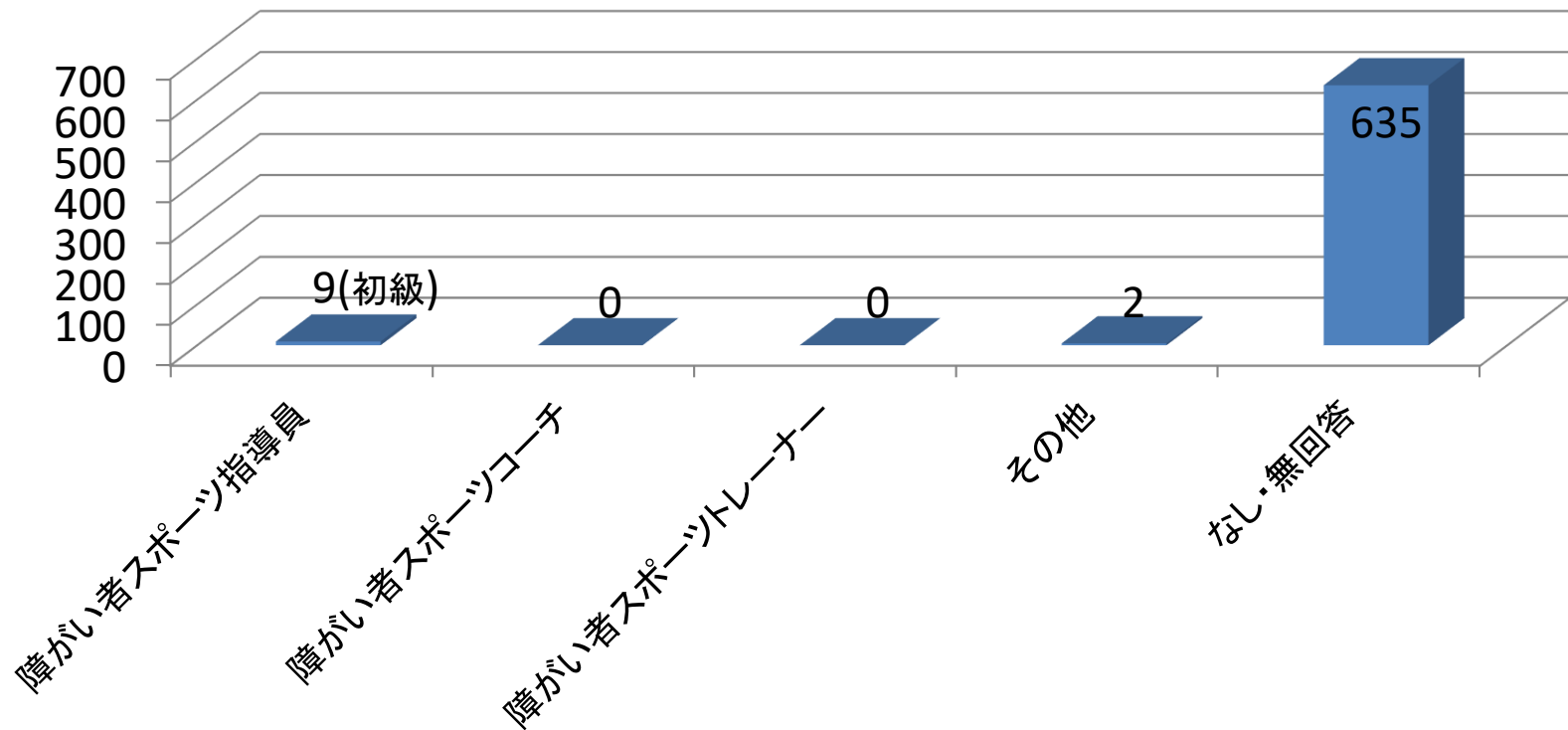
車椅子マラソン : 31
 スレッジ・ホッケー : 28
 アーチェリー : 28
 ボート・カヌー :
 ヨット・サーフィン : 16
 バドミントン : 13
 野球 : 12
 グラウンドソフト : 12
 自動車・自転車
 (乗馬) : 9

カーリング : 8
 柔道・格闘技 : 7
 車椅子フェンシング : 7
 社交ダンス : 5
 トライアスロン : 5
 射撃 : 5
 ゴールボール : 5
 ボーリング : 3

その他
 キックベース・ハンドボール・ペタンク・シャベルック・ダーツ
 ゴルフ・スキューバ・スケート・ボルダリング・キンボール
 盲人バレー・フライングディスク・キックベースボール

※6種目以上記載できた者が113名であった一方で、
 回答なしが125名と競技種目の知識が少ない印象

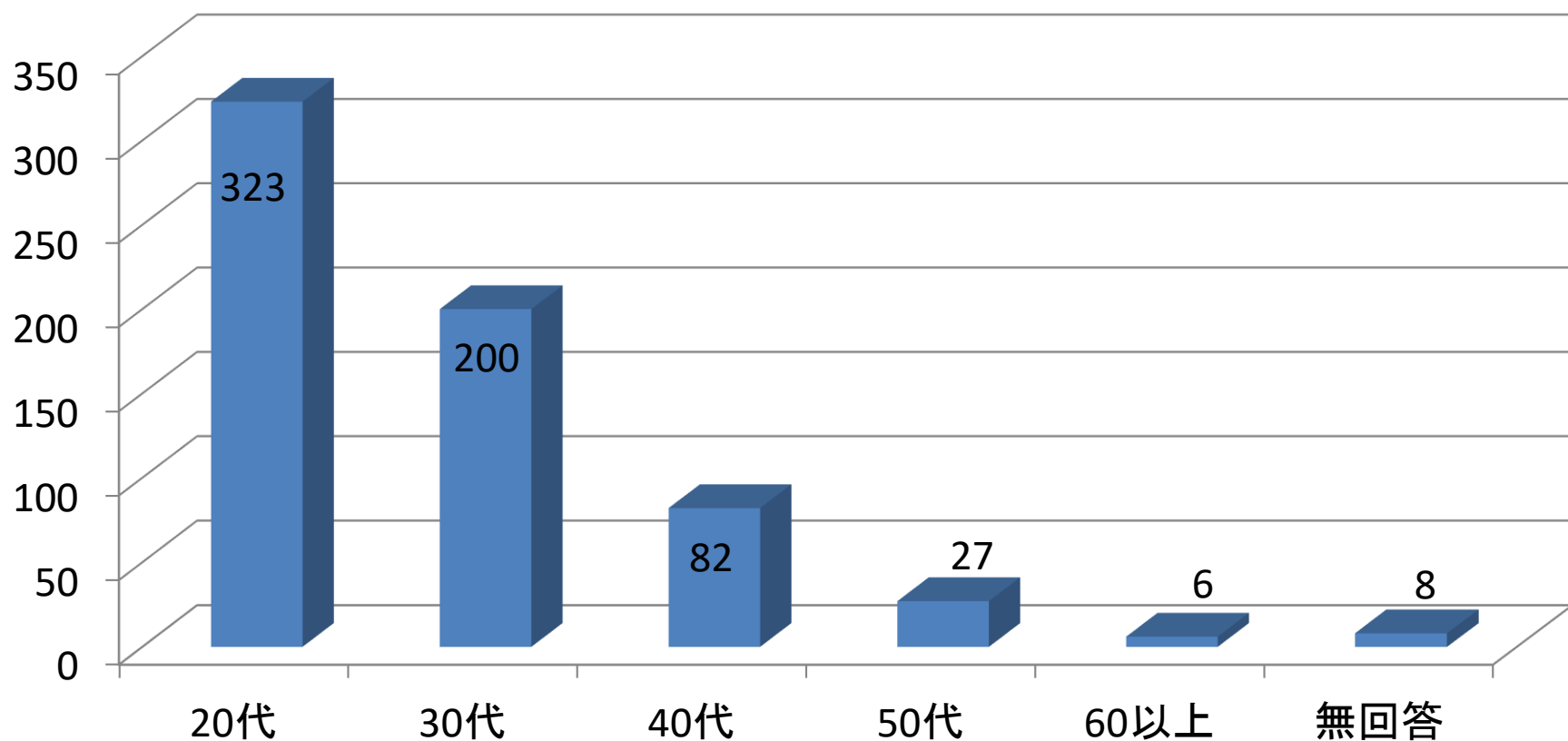
身障スポーツに関連する資格



その他 ; 水泳クラシフィヤー、メンタルヘルス運動指導士、ヨガトレーナー

※山梨では身障者スポーツ関連の有資格者が少なく
専門的教育を受けた者がほとんどいない現状

年齢構成



※回答者の半数は20代のPTで

身障者スポーツへの参入後に継続できる可能性がある